

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2277101701 | | |
| 法人名 | 有限会社アートプロジェクト | | |
| 事業所名 | グループホーム泉の家 ユニット① | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市中区泉4丁目28番5号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年7月21日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年8月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kami=true&JigyosyoCd=2277101701-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年8月4日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

泉の家では、地域との交流・利用者の意思の尊重・笑顔あふれるホームづくりに取り組んでいます。地域のボランティアの方を広く受け入れており、週4日ほど来て頂ける将棋ボランティア・地域の老人会等様々なボランティアの方が来設して下さいます。また、散歩などの時には近所の方が声をかけて下さったり、庭で取れた花をくださったりと交流も常日頃よりあります。利用者一人一人の意思を尊重し、できる限りの対応を行っていくことにより、日々たくさんの笑顔を届けることに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5年以上続く将棋をはじめアコーディオンや老人会のボランティアメニューが多彩なことに驚くとともに、利用者家族や近隣からは草取りの手伝いもあり、大切にされ愛されている事業所であることが覗えます。少し歩けばサッカー場や野球場、公園が点在する緑豊かな環境の下、窓を開ければ子どもたちが戯れるさざめきが流れ、また1階、2階、3階から見える景色が異なる点に趣きがあり、各階を自由に往来する利用者も愉しめます。日頃の真摯な取組みの証として、家族アンケートには「職員が家庭の事情を理解してくれ、ありがたい」「職員の異動が少ないため、掌握に優れた訪問時に安心感を覚える」といった確かな信頼が綴られていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 意識付けされ日々実践につなげられるよう、理念を見える場所に掲示している | 理念は職員の目に入る場所に大きく掲示し、特に『地域との交流』を大事にしています。そのため、散歩では気軽に声をかけてもらえる関係を築けていて、「きれいに咲いたから」と生花をもらったりすることもあります。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 運営推進会議や回覧板にて情報を得て、地域行事参加やボランティア来設で交流を図っている | 浜松祭りのラッパ隊が立ち寄っての演奏や将棋対戦に付き合ってくれるボランティアなど、これまでの風習や趣味が続けられています。また、老人会の歌や踊りは近い世代との交流の場として、日常に彩を加えています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 入居・介護相談には随時対応し、施設の見学も自由に行えるようにしている | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議にて施設としての活動や運営状況の報告をしている 参加者の意見や指摘にはサービス向上に活かせるよう話し合いをしている | 自治会長、民生委員のほか行政職員も毎回事業所の応援に駆け付けてくれ、利用者も数名参加しています。熱心な話し合いの場は1時間越えとなることもあり、また的確な発言は職員の気づきにつながり、有意義な集いに発展しています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議、訪問、問い合わせ等で連絡を取り合い協力関係を築いている | 少なくとも月2回、用件が重なったときは10回ということもあったほど、現状市役所へ出向くことが増えているため、フェイスTOフェイスの関係にあります。ボランティア受入れ等オープンなためか、市役所やケースワーカーだけでなく直接の入居相談もあります。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 禁止対象行為を正しく理解し身体拘束ゼロ宣言をしている 日々の業務や会議の中でスピーチロックなどについて話し合いをしている | 法人研修も設けられ、事業所内で毎月1回おこなう研修会のプログラムにもスピーチロックが入っており、全員参加で臨んでいます。理念にも『利用者の尊厳』が掲げられていることから、管理者が注視し助言・指導しています。 | 研修が画一的にならないよう、また日頃の助言・指導が一過性のものとして流れてしまわないよう、ヒヤリハットの検討研修といった具体的事例に基づく学びの機会をつくることを期待します。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待について意識を持って防止に取り組んでいる 研修や会議にて学ぶ機会を持つようになっている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 制度に対しての理解をし必要な方にはそれらを活用できるよう支援している | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時・改定時必要に応じて説明を行い、疑問・質問のある時は十分な説明を行っている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議や面会時、家族の意見や要望を伺う また利用者の希望も聞く機会を作り、それらを運営に反映させている | 利用者からは「あれが欲しい」との声が高く、家族と相談して要望を叶えています。高価な化粧品を望む利用者や「そんなに(お金を)かけなくても」と思う家族の間に入って、100円均一のもので本人の満足を得られた例もあります。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職場会議等で意見や提案を出し合い、業務改善がなされるよう話し合う機会を設けている | 職員の労働環境やキャリアアップに係る件はほとんどありませんが、毎月の定例会だけでなく管理者に直接の進言があります。特に電気量の削減対策については多様なアイデアが挙がっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 就業規則の中で各自がやりがいや向上心を持って働けるよう環境・条件の整備に努めている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 定期的に内部研修を行っている 職員の希望があれば外部研修に参加できるよう機会を確保している | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループ内の研修や行事で他施設との交流を図っている また外部研修等での交流で質の向上への取り組みを行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人が不安なく安心して暮らせるよう入居前に面談を行い要望等に耳を傾け話を密に行う等の関係づくりに努めている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の相談の段階で家族の不安・要望等の相談を受け、意見を取り入れながら話し合える関係づくりに努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人・家族より情報を集め必要としている支援を見極め他のサービス利用も含めた対応を行うようにしている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 出来る限り本人が自分でできることやりたいことを尊重し参加をして頂き生活を共にしているという関係を築くようにしている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人の体調の変化・要望を家族に伝え、家族に負担の無いよう考慮しながら話し合いケアを行うようにしている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族親戚だけではなく馴染みの人や場所との関係が途切れないよう面会の受け入れ、話をする等の支援に努めている | 知人が連れだって遠方から来所することもあり、キーパーソンの承諾をえて友人と外泊旅行に出かけたのは先日あったばかりのホットな例です。また頻度の増した老人会メンバーの訪れは近年では馴染みの関係として確立しています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士が関わりをもち支え合えるよう職員が間に入り孤立しないよう支援に努めている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス終了後も相談があれば支援するように努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常での利用者の様子を確認し利用者との会話の中で意向・希望を把握できるように努めている | 以前書道をやっていた利用者にはカレンダーを作成する折『月』『曜日』と入れてもらうよう促したり、料理人だった人には包丁研ぎの指南をお願いして、なるべく自発的に「これやるよ」と言ってもらえる下地作りに努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族本人より情報を収集し、暮らし方生活環境を把握するよう努めている 以前利用していたサービスは出来るだけ情報提供してもらうよう努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 本人の様子観察やコミュニケーションを図るようにし、現状の把握に努めている | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人・家族の意見・意向を尊重し、医師・看護師等医療従事者の意見を聞き、管理者・ケアマネ・計画作成担当者・職員で会議を行い現在の状況に即した介護計画を作成するよう努めている | 1名のケアマネージャーを含み、ユニット毎に計画作成担当者がいます。普段現場にいるため全体を観察できていますが、より密となるよう担当制が敷かれ詳細記録の徹底がおこなわれています。困難ケースも協議をもってプランに反映させ、本人の症状が緩和した例があります。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 一人ひとりの日々の様子や変化を個別で記録し、申し送り・カンファレンス等により情報を共有し見直しも行っている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 既存のサービスにとらわれずサービスの見直しや変更を行いその時々ニーズに対応できる支援に取り組んでいる | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域ボランティアの方々の協力を得ながら運営推進会議等で情報を頂いている 必要に応じ医療機関との連携もとっている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人・家族の希望を聞いて決定 本人体調不良時にはかかりつけ医に連絡相談の上支援を行っている | 在宅の頃からのかかりつけ医が続いている人が1名いますが、他は協力医へ変更しています。常には家族に受診介助をお願いしていますが、難しい場合は職員が代行しています。医師や看護師からプラン作成にも貴重な意見をもらえ助かっています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師に利用者の状態や気になる点を相談し指示を受け対応をしている | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時医療機関と情報交換を行う 必要に応じ家族と医療機関とのパイプ役も 行っている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 早期に家族と話し合いを行い施設でできることや状態説明をし調整しながら方針検討をしている | この1年での看取り実績はありませんが態勢は整えており、連携可能な医院もあります。ただし医療行為が必要なとき、口経摂取ができなくなった場合は医師の判断を仰ぎ、移設となることもあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルを用意し研修や会議でその内容確認を行っている | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協働体制を築いている | 年二回防災訓練を行っている 地域の訓練にも参加している | 訓練は年2回あり、地域の訓練と連動しておこうものと夜間想定とがあります。地域の訓練では職員と車いす利用者として出かけ、双方の刺激にもなっています。事業所内では通報の仕方や職員の動線を確認して具体的におこなっています。 | 事業所内訓練が確認に留まっているため、利用者が外に出ての実地訓練をおこなうことを期待します。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人格を尊重した声掛けを行うと共に、一人ひとりの支援に対してはプライバシーを守るよう意識している | 『倫理・法令遵守、プライバシー保護について』は必ず年1回職員全員で振り返る機会があります。家庭的なことから近い存在としての言動になりがちなため、管理者は「年長者であることを忘れないように」と繰り返し伝えていきます。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の希望や意思を尊重できるコミュニケーションを行い支援できるようにしている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 出来る限りその人のペースが尊重されるよう希望に沿った支援を行うよう努めている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類は本人の好みに応じたコーディネートでの支援を行っている 希望により化粧品の使用も支援している | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 嗜好調査や普段の会話から好みの要望を把握し活かしていけるよう努めている | 週2回食材を注文していますが、利用者の「お好み焼きがいい」「冷やし中華！」に呼応して調理することも欠かしません。また隔月開催の誕生日会には、ホットケーキ餡子乗せといった職員考案のオリジナルケーキがテーブルを飾っています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養バランス・カロリーケア産された介護食を提供している また利用者の状態に合わせ形態の変更も行っている | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後状態に合わせた口腔ケアの支援を行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄表の活用で一人ひとりのパターンを把握し自立に向けた支援に取り組んでいる | 3ユニット27名中、オムツと布パンツ、紙パンツの使用割合がほぼ同じという状況にあります。便秘予防として朝の体操と散歩、嗜好に合わせた水分補給とチェックをおこなう一方で、医師と相談のうえ半数が内服薬を使用しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 散歩・体操・水分補給を行っている 必要に応じ医療機関に相談しマッサージを行っている | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 施設で決まっている曜日時間帯に本人の希望やペースにあった入浴の提供を行っている | みどり、きいろ、ピンクとユニットによって浴槽のカラーに変化をつけています。1日おきに入浴していて他事業所に比べ頻度が高いものの、湯は入れ替えでなく足し湯です。長湯が好きな利用者はのぼせないよう職員が寄り添いつつ、希望に応じています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの睡眠状態を見廻りで確認している 不眠時の訴えには医師に相談し安心して眠れるよう努めている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人ひとりの薬の内容を理解の上医師の指示に従い支援している 服薬時は必ずチェックし状態の記録をしている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 本人の希望や能力に応じた役割をもち張り合いのある日常を過ごして頂けるよう支援している | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 出来る限り散歩や外気浴を行っている また毎月の行事の一環として買い物もできるようにしている | 外気浴を大事と考えていて1日1回を旨とし、散歩や買い物にでかけ、ショッピングセンターやスーパーマーケットを憩いの場としています。パンやジュースを持参して近くの公園にでかけることもあり、お花見も楽しみのひとつです。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族の了承を頂いている方は所持をしている 買い物ができる機会を設け使えるよう支援を行っている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望に沿い家族と相談し電話や手紙を行っている | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 室内温度は利用者の状態を見ながら調節している また季節ごとに花や壁面掲示物に変化を持たせている | 職員が描いた利用者の似顔絵、利用者の貼り絵作品に囲まれたリビングは、立ち上がりや手のあげおろしの体操を日課とする利用者のリハビリと賑わいの空間として活躍しています。エアコンの温度管理だけでなく扇風機も導入し、居心地のよさを高めています。 | 事業所行事が少ないように感じました。共用空間でのこれまで通りの暮らしの延長線に『おやつパーティー』など、小さな喜びのある日が用意されることを期待します。 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テーブル・ソファ・テレビの配置に考慮し一人ひとりが思い思いの場所で過ごせるよう工夫している | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人や家族と話し合い普段より使い慣れ親しんだものを置き安心して過ごせるよう工夫している | 電池式の線香をお供えて安寧を得ている人、猫の切り抜きが溢れる動物好きな人、その人らしい暮らしを垣間見ることができ、また利用者同士で居室を歩き来して、おしゃべりに花を咲かせる姿も視認しました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入口にネーム・写真をつけわかりやすくする工夫を行っている 安全に自立した生活を送れるよう障害となる物を極力減らしている | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2277101701 | | |
| 法人名 | 有限会社アートプロジェクト | | |
| 事業所名 | グループホーム泉の家 ユニット② | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市中区泉4丁目28番5号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年7月21日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年8月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年8月4日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

泉の家では、地域との交流・利用者の意思の尊重・笑顔あふれるホームづくりに取り組んでいます。
地域のボランティアの方々と広く受け入れており、週4日ほど来て頂ける将棋ボランティア・地域の老人会等様々なボランティアの方が来設して下さいます。
また、散歩などの時には近所の方が声をかけて下さったり、庭で取れた花をくださったりと交流も常日頃よりあります。
利用者一人一人の意思を尊重し、できる限りの対応を行っていくことにより、日々たくさんの笑顔が見られるように取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5年以上続く将棋をはじめアコーディオンや老人会のボランティアメニューが多彩なことに驚くとともに、利用者家族や近隣からは草取りの手伝いもあり、大切にされ愛されている事業所であることが覗えます。少し歩けばサッカー場や野球場、公園が点在する緑豊かな環境の下、窓を開ければ子どもたちが戯れるさざめきが流れ、また1階、2階、3階から見える景色が異なる点に趣きがあり、各階を自由に往来する利用者も愉しめます。日頃の真摯な取組みの証として、家族アンケートには「職員が家庭の事情を理解してくれ、ありがたい」「職員の異動が少ないため、掌握に優れた訪問時に安心感を覚える」といった確かな信頼が綴られていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 【地域との交流】を理念としており、泉の家の催しに近隣の方に参加頂いている | 理念は職員の目に入る場所に大きく掲示し、特に『地域との交流』を大事にしています。そのため、散歩では気軽に声をかけてもらえる関係を築けていて、「きれいに咲いたから」と生花をもらったりすることもあります。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 自治会の草取り・清掃・防災訓練に参加 | 浜松祭りのラッパ隊が立ち寄っての演奏や将棋対戦に付き合ってくれるボランティアなど、これまでの風習や趣味が続けられています。また、老人会の歌や踊りは近い世代との交流の場として、日常に彩を加えています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の中学生の体験学習の受け入れを行っている | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 各号館から現状報告をし、参加されている皆様の質問意見をもらえるようにしている | 自治会長、民生委員のほか行政職員も毎回事業所の応援に駆け付けてくれ、利用者も数名参加しています。熱心な話し合いの場は1時間越えとなることもあり、また的確な発言は職員の気づきにつながり、有意義な集いに発展しています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議に区役所から参加して頂いたり、生活保護受け入れを行っている事も有、必要に応じて担当者で連絡を取り合っている | 少なくとも月2回、用件が重なったときは10回ということもあったほど、現状市役所へ出向くことが増えているため、フェイスTOフェイスの関係にあります。ボランティア受入れ等オープンなためか、市役所やケースワーカーだけでなく直接の入居相談もあります。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束0宣言を行い実行している また、拘束等に対する研修も定期的に行っている | 法人研修も設けられ、事業所内で毎月1回おこなう研修会のプログラムにもスピーチロックが入っており、全員参加で臨んでいます。理念にも『利用者の尊厳』が掲げられていることから、管理者が注視し助言・指導しています。 | 研修が画一的にならないよう、また日頃の助言・指導が一過性のものとして流れてしまわないよう、ヒヤリハットの検討研修といった具体的事例に基づく学びの機会をつくることを期待します。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会や研修を行い、職員の意識を高め互いに注意をし業務を行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度、日常生活自立支援事業の支援を受けている利用者がおり理解している | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 事業所ができること出来ない事を説明している 重要事項等の変更を行うときには家族に説明し納得を得ている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の開催を案内させて頂いたり、参加時に意見など頂けたり、要望などを話して頂けたときは記録をし検討を行い反映するようにしている | 利用者からは「あれが欲しい」との声が高く、家族と相談して要望を叶えています。高価な化粧品を望む利用者や「そんなに(お金を)かけなくても」と思う家族の間に入って、100円均一のもので本人の満足を得られた例もあります。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 利用者の受け入れや、職員交代等その都度職員の意見が参考とされている | 職員の労働環境やキャリアアップに係る件はほとんどありませんが、毎月の定例会だけでなく管理者に直接の進言があります。特に電気量の節減対策については多様なアイデアが挙がっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の欠員が出ると、シフト上に無理が生じないように補充されるシステムがある | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月勉強会があり、参加できなかった職員には内容の報告がされる | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他グループホームとの職員の交換研修がある | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 生活の状態・心身の状態・本人の思いを知る為に、本人と面談を行い職員との関係づくりに努めている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前に見学、相談をし、不安などを解消できるよう取り組み、本人や家族の事情や要望を考慮したうえでサービスを導入している | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人・家族・関係者から情報を集めて本人の状態を把握して支援を行い、往診や訪問理美容等のサービスも利用している | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者と職員が会話をしながら過ごすことが多く、その中で関係を築いている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 御家族には面会時や電話などで状態を報告し、意見交換をしながら支えていけるよう努めている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 御家族や友人が訪問しやすい雰囲気心掛け、馴染の場所への外出や外泊にも応じている | 知人が連れだつて遠方から来所することもあり、キーパーソンの承諾をえて友人と外泊旅行に出かけたのは先日あったばかりのホットな例です。また頻度の増した老人会メンバーの訪れは近年では馴染みの関係として確立しています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者それぞれの個性を考慮し、心身の状態や気分に変化することも念頭に置き、職員は申し送り等を利用して情報の共有を行い支援につなげている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了時には、御家族へ相談があればいつでも連絡して頂けるように伝えている また、相談があれば支援できるよう努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の利用者の様子(言動・行動・表情など)を経過記録の記載し、希望・意向を把握できるように努めている | 以前書道をやっていた利用者にはカレンダーを作成する折『月』『曜日』と入れてもらうよう促したり、料理人だった人には包丁研ぎの指南をお願いして、なるべく自発的に「これやるよ」と言ってもらえる下地作りに努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時にフェイスシートや暮らしの情報を記入して頂き把握に努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎朝のバイタルチェックや様子観察を行い心身状態の把握に努めご本人とはコミュニケーションや行動などから出来ることを見つけれられるように努めている | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者家族の意見を聞き、関係各所の意見も踏まえたくうでスタッフ全員で会議を行い介護計画を作成している | 1名のケアマネージャーを含み、ユニット毎に計画作成担当者がいます。普段現場にいるため全体を観察できていますが、より密となるよう担当制が敷かれ詳細記録の徹底がおこなわれています。困難ケースも協議をもってプランに反映させ、本人の症状が緩和した例があります。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 食事・排泄など身体状況及び暮らしの様子や本人の言動を職員が確認できるよう記録し、気づいたことを実践できるようにしている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者一人ひとりの生活リズムを理解し、仰る事や行動を見守り新しいニーズに対応 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 利用者が安心して地域での暮らしが行えるよう自治会・民生委員等と意見交換を行っている また、地域からのボランティアをうけいれている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている また、御家族が受診に付き添えない場合は相談を頂き職員が代行している | 在宅の頃からのかかりつけ医が続いている人が1名いますが、他は協力医へ変更しています。常には家族に受診介助をお願いしていますが、難しい場合は職員が代行しています。医師や看護師からプラン作成にも貴重な意見をもらえ助かっています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 保頃の健康管理や医療面での相談助言対応を行ってもらい、記録や報告を基に連携をしている | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院によるダメージを極力防ぐために医師と相談を行う 家族との情報交換も行い速やかな退院支援に結び付けている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 常に本人や家族の希望を確認し、医師・看護師の考えを聞いた後職員同士で話し合い支援を行っている | この1年での看取り実績はありませんが態勢は整えており、連携可能な医院もあります。ただし医療行為が必要なとき、口経摂取ができなくなった場合は医師の判断を仰ぎ、移設となることもあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 応急手当や初期対応の研修を実施している (年間研修プログラムに織り込まれている) | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練等の訓練を年二回行い、地域の防災訓練にも入居者と共に参加させて頂いている | 訓練は年2回あり、地域の訓練と連動しておこなうものと夜間想定とがあります。地域の訓練では職員と車いす利用者などで出かけ、双方の刺激にもなっています。事業所内では通報の仕方や職員の動線を確認して具体的におこなっています。 | 事業所内訓練が確認に留まっているため、利用者が外に出た際の現地訓練をおこなうことを期待します。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職員の意識向上を図ると共に、利用者の埃やプライバシーを損ねない対応の徹底を行っている | 『倫理・法令遵守、プライバシー保護について』は必ず年1回職員全員で振り返る機会があります。家庭的なことから近い存在としての言動になりがちなため、管理者は「年長者であることを忘れないように」と繰り返し伝えていきます。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々本人の思いや希望を聞き時けてい出来るように働きかけている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はしていない 一人ひとりの状態や想いに配慮しながら柔軟に対応している | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着替えは基本的に本人の意向で決めており、職員は見守りや支援が必要な時に手伝うようにしている | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や盛り付け片づけなども利用者と共に 行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで 楽しく食事できるよう雰囲気作りも大切にしている | 週2回食材を注文していますが、利用者の「お好み焼きがいい」「冷やし中華！」に呼応して調理することも欠かしません。また隔月開催の誕生日会には、ホットケーキ餡子乗せといった職員考案のオリジナルケーキがテーブルを飾っています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している また個別の残食量なども記録して大まかに栄養摂取量を把握している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の歯磨きの声掛けを行い、力に応じて職員が見守ったり介助を行っている 就寝前は義歯の洗浄を行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの力や排泄のパターン・習慣を活かして声掛けをしたり介助をしたり自立に向けた支援を行っている | 3ユニット27名中、オムツと布パンツ、紙パンツの使用割合がほぼ同じという状況にあります。便秘予防として朝の体操と散歩、嗜好に合わせた水分補給とチェックをおこなう一方で、医師と相談のうえ半数が内服薬を使用しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食材の工夫や運動散歩家事活動など体を動かす機会を適度に設けて自然排便できるよう取り組んでいる | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 曜日・時間は決まっているが一人ひとりゆとりと入浴できるよう心掛けている | みどり、きいろ、ピンクとユニットによって浴槽のカラーに変化をつけています。1日おきに入浴していて他事業所に比べ頻度が高いものの、湯は入れ替えてなく足し湯です。長湯が好きな利用者はのぼせないよう職員が寄り添いつつ、希望に応じています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の活動を心掛け生活リズムを整えるようしている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 本人の状態変化がみられるときは細かい記録を取るようしており、職員・病院との連携を取れるようになっている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらい、できる仕事をして頂いている | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 天気の良い日は散歩に行っている | 外気浴を大事と考えていて1日1回を旨とし、散歩や買い物にでかけ、ショッピングセンターやスーパーマーケットを憩いの場としています。パンやジュースを持参して近くの公園にでかけることもあり、お花見も楽しみのひとつです。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人がお金の管理をすることはできないが、職員同伴で買い物へ行くなどをし、お金を使用して買い物をするように支援している | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望に添えるよう、職員が付き添う等をし電話や手紙ができるように支援している | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に沿ったフロアの飾りつけを一緒にしてもらったり、空調の調整を行っている | 職員が描いた利用者の似顔絵、利用者の貼り絵作品に囲まれたリビングは、立ち上がりや手のあげおろしの体操を日課とする利用者のリハビリと賑わいの空間として活躍しています。エアコンの温度管理だけでなく扇風機も導入し、居心地のよさを高めています。 | 事業所行事が少ないように感じました。共用空間でのこれまで通りの暮らしの延長線に『おやつパーティー』など、小さな喜びのある日が用意されることを期待します。 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テレビを一人でゆっくり楽しみたい方は居室にテレビを置き好きなチャンネルでゆっくりと観れるようにしている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 写真や使い慣れた日用品等を居室においている | 電池式の線香をお供えて安寧を得ている人、猫の切り抜きが溢れる動物好きな人、その人らしい暮らしを垣間見ることができ、また利用者同士で居室を歩き来して、おしゃべりに花を咲かせる姿も視認しました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 個人個人のできることが違うので状態に合わせて環境整備を行うよう努めている | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2277101701 | | |
| 法人名 | 有限会社アートプロジェクト | | |
| 事業所名 | グループホーム泉の家 ユニット③ | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市中区泉4丁目28番5号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年7月21日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年8月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年8月4日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

泉の家では、地域との交流・利用者の意思の尊重・笑顔あふれるホームづくりに取り組んでいます。地域のボランティアの方を広く受け入れており、週4日ほど来て頂ける将棋ボランティア・地域の老人会等様々なボランティアの方が来設して下さいます。また、散歩などの時には近所の方が声をかけてくださったり、庭で取れた花をくださったりと交流も常日頃よりあります。利用者一人一人の意思を尊重し、できる限りの対応を行っていくことにより、日々たくさんの笑顔が見られるようになりました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5年以上続く将棋をはじめアコーディオンや老人会のボランティアメニューが多彩なことに驚くとともに、利用者家族や近隣からは草取りの手伝いもあり、大切にされ愛されている事業所であることが覗えます。少し歩けばサッカー場や野球場、公園が点在する緑豊かな環境の下、窓を開ければ子どもたちが戯れるさざめきが流れ、また1階、2階、3階から見える景色が異なる点に趣きがあり、各階を自由に往来する利用者も愉しめます。日頃の真摯な取組みの証として、家族アンケートには「職員が家庭の事情を理解してくれ、ありがたい」「職員の異動が少ないため、掌握に優れた訪問時に安心感を覚える」といった確かな信頼が綴られていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念をホールの見えるところに貼り、実践につなげている | 理念は職員の目に入る場所に大きく掲示し、特に『地域との交流』を大事にしています。そのため、散歩では気軽に声をかけてもらえる関係を築けていて、「きれいに咲いたから」と生花をもらったりすることもあります。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 運営推進会議や回覧板を通して、地域の行事(草刈り等)に参加・交流をしている | 浜松祭りのラッパ隊が立ち寄っての演奏や将棋対戦に付き合ってくれるボランティアなど、これまでの風習や趣味が続けられています。また、老人会の歌や踊りは近い世代との交流の場として、日常に彩を加えています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方が自由に見学できるようにしている。 入居相談・介護相談にも応じている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議にて日々の活動を報告して意見を頂き、職場会議等にて話し合い、活かせるように努めている | 自治会長、民生委員のほか行政職員も毎回事業所の応援に駆け付けてくれ、利用者も数名参加しています。熱心な話し合いの場は1時間越えとなることもあり、また的確な発言は職員の気づきにつながり、有意義な集いに発展しています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 質問・疑問があった時は、市役所担当者に聞いたり、相談をする等連絡を取り合っている | 少なくとも月2回、用件が重なったときは10回ということもあったほど、現状市役所へ出向くことが増えているため、フェイスTOフェイスの関係にあります。ボランティア受入れ等オープンなためか、市役所やケースワーカーだけでなく直接の入居相談もあります。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束ゼロ宣言のポスターを貼ったり、拘束しないケアに取り組んでいる | 法人研修も設けられ、事業所内で毎月1回おこなう研修会のプログラムにもスピーチロックが入っており、全員参加で臨んでいます。理念にも『利用者の尊厳』が掲げられていることから、管理者が注視し助言・指導しています。 | 研修が画一的にならないよう、また日頃の助言・指導が一過性のものとして流れてしまわないよう、ヒヤリハットの検討研修といった具体的事例に基づく学びの機会をつくることを期待します。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 内部研修・職場会議等にて虐待について勉強し職員一人ひとり意識を持って取り組んでいる | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 入居前に必要な方には活用するように進めている。 また、制度について理解できるように取り組んでいる。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時と改定等あった時には説明を行っている。 また、質問・疑問ある時は相談して頂き納得して頂けるように説明するよう努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時等出来る限り意見を頂けるように取り組んでいる。 意見して頂いたことについては、話し合い改善していくように努めている。 | 利用者からは「あれが欲しい」との声が高く、家族と相談して要望を叶えています。高価な化粧品を望む利用者や「そんなに(お金を)かけなくても」と思う家族の間に入って、100円均一のもので本人の満足を得られた例もあります。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定例会で意見や提案をする時間がある。 また、それについて話し合うようにしている。 | 職員の労働環境やキャリアアップに係る件はほとんどありませんが、毎月の定例会だけでなく管理者に直接の進言があります。特に電気量の削減対策については多様なアイデアが挙がっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 努力や実績・勤務状況を把握してもらっていて、必要に応じて変更を行っている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部研修は定期的であり、外部研修においては希望があれば参加できるようになっている。 また、その機会を確保するように取り組んでいる。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修にて交流する機会を持つ努力をしている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に面談を行い、希望などを聞き取るようにしている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前に見学等して頂き、質問・要望を聞き取り、それに取り組むようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人・家族から情報を集めて本人の状態を把握し、他サービスも含めて必要なサービスを提供できるように努めている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活の作業など、本人ができる範囲で手伝って頂いている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時・電話等で意見を交換しながら、本人の介護にかかわって頂いている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出の機会を設けたり、来館者との会話を楽しんでいただいている | 知人が連れだって遠方から来所することもあり、キーパーソンの承諾をえて友人と外泊旅行に出かけたのは先日あったばかりのホットな例です。また頻度の増した老人会メンバーの訪れは近年では馴染みの関係として確立しています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員が間に入り利用者同士コミュニケーションが取れるように配慮をしている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 他に施設・病院に移られた方々に機会があれば面会に伺ったりしている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の利用者の様子(言動・表情・行動)等から一人ひとりの希望・意向を把握できるように努めている | 以前書道をやっていた利用者にはカレンダーを作成する折『月』『曜日』と入れてもらうよう促したり、料理人だった人には包丁研ぎの指南をお願いして、なるべく自発的に「これやるよ」と言ってもらえる下地作りに努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族から情報を集めて一人ひとりの暮らし方の把握に努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの一日の過ごし方食事睡眠排泄の時間生活習慣・体調の変化等を記録し、話し合うことにより把握に努めている | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 管理者・ケアマネ・計画作成担当者・職員で話し合いを行い、家族・医師・看護師においては事前に意見を伺い反映している | 1名のケアマネージャーを含み、ユニット毎に計画作成担当者がいます。普段現場にいるため全体を観察できていますが、より密となるよう担当制が敷かれ詳細記録の徹底がおこなわれています。困難ケースも協議をもってプランに反映させ、本人の症状が緩和した例があります。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人個人の経過記録にヒビの様子を記録している | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 現状ではグループホーム内での支援にとどまっている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの協力を得ている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 一人ひとりかかりつけ医を決め、利用者の状態により往診・受診を行っている | 在宅の頃からのかかりつけ医が続いている人が1名いますが、他は協力医へ変更しています。常には家族に受診介助をお願いしていますが、難しい場合は職員が代行しています。医師や看護師からプラン作成にも貴重な意見をもらえ助かっています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週二回の訪問看護を実施し、相談をしたり指示を受けるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関に情報を提供し、退院時は出来る範囲で受け入れるようにしている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族と話し合いを行い、家族の希望に沿った介護ができる様説明や相談を行っている | この1年での看取り実績はありませんが態勢は整えており、連携可能な医院もあります。ただし医療行為が必要なとき、口経摂取ができなくなった場合は医師の判断を仰ぎ、移設となることもあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 研修を受けたり、カンファレンス時に急変の対応を話し合ったりしている | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年二回防災訓練を行い、防災意識を高めるよう心掛けている。 | 訓練は年2回あり、地域の訓練と連動しておこうものと夜間想定とがあります。地域の訓練では職員と車いす利用者などで出かけ、双方の刺激にもなっています。事業所内では通報の仕方や職員の動線を確認して具体的におこなっています。 | 事業所内訓練が確認に留まっているため、利用者が外に出たの实地訓練をおこなうことを期待します。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 全ての利用者に対して、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をするように心掛けている | 『倫理・法令遵守、プライバシー保護について』は必ず年1回職員全員で振り返る機会があります。家庭的なことから近い存在としての言動になりがちなため、管理者は「年長者であることを忘れないように」と繰り返し伝えていきます。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 一人ひとりとコミュニケーションを取り、希望要望を聞くように心掛けている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の気持ちや状態に配慮してその人らしく過ごして頂けるように支援している | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 日々の洋服においては本人の好きな物を選んでいただくようにしている | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食材の下準備を共にしたり、食後の片づけは利用者と一緒にしている | 週2回食材を注文していますが、利用者の「お好み焼きがいい」「冷やし中華！」に呼応して調理することも欠かしません。また隔月開催の誕生日会には、ホットケーキ餃子乗せといった職員考案のオリジナルケーキがテーブルを飾っています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリー計算された介護食を利用している。水分量においては必要に応じて声掛けをしたり、別の飲み物を進める等の工夫を行っている | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後利用者に口腔ケアを促している。介助の必要な方には、見守り・介助等を行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | トイレのチェックを行い、排泄パターンを把握するように努めている。 それを確認し声掛けを行うようにし、トイレ誘導をするようにしている | 3ユニット27名中、オムツと布パンツ、紙パンツの使用割合がほぼ同じという状況にあります。 便秘予防として朝の体操と散歩、嗜好に合わせた水分補給とチェックをおこなう一方で、医師と相談のうえ半数が内服薬を使用しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 散歩や体操をして頂き、なるべく体を動かすようにしている。 また、水分摂取の声掛けなど行うようにしている | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴の日時は決まっていますが、その中でも本人のペースで入浴できるように努めている | みどり、きいろ、ピンクとユニットによって浴槽のカラーに変化をつけています。1日おきに入浴していて他事業所に比べ頻度が高いものの、湯は入れ替えてなく足し湯です。長湯が好きな利用者はのぼせないよう職員が寄り添いつつ、希望に応じています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 睡眠状況を把握し不眠の場合は医師等に相談するようにして安心して眠れるようにしている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋の確認を行い、服薬時には必ず見守りを行うようにしチェック表をつけている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 出来ることはなるべく自分でやって頂き、掲示物などの作成もして頂いている | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 本人の希望に応じて、散歩や買い物を行っている | 外気浴を大事と考えていて1日1回を旨とし、散歩や買い物にでかけ、ショッピングセンターやスーパーマーケットを憩いの場としています。パンやジュースを持参して近くの公園にでかけることもあり、お花見も楽しみのひとつです。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族の了解を頂いている方においては所持をしている。 買い物においては出来る限り対応できるよう努めている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望がある場合は出来る限り対応できるようにしている | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 室内の温度や湿度、テーブルの配置等、入居者の居心地の良ように心掛けている | 職員が描いた利用者の似顔絵、利用者の貼り絵作品に囲まれたリビングは、立ち上がりや手のあげおろしの体操を日課とする利用者のリハビリと賑わいの空間として活躍しています。エアコンの温度管理だけでなく扇風機も導入し、居心地のよさを高めています。 | 事業所行事が少ないように感じました。共用空間でのこれまで通りの暮らしの延長線に『おやつパーティー』など、小さな喜びのある日が用意されることを期待します。 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 入居者同士の関係に配慮しながら、居心地の良い空間になる様努めている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人や家族と話し合い、使い慣れたものを置いて頂き安心して過ごせるよう努めている | 電池式の線香をお供えして安寧を得ている人、猫の切り抜きが溢れる動物好きな人、その人らしい暮らしを垣間見ることができ、また利用者同士で居室を歩き来して、おしゃべりに花を咲かせる姿も視認しました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 入居者の状態に合わせてベッドの高さを変えたり、手すりをつける等している。 バリアフリーになっており、安全確保と自立への配慮を行っている | | |